

市町業務改革(BPR)伴走支援業務プロポーザル審査基準表

No	評価項目	評価内容	配点	採点基準				
				非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る
1	提案内容の有効性および実現可能性	(1)業務内容の理解 ・自治体DXが求められている背景や、県内市町の状況を理解しているか。 ・本事業の目的・内容を理解し、方針が明確となっているか。	20	20	16	12	8	4
2		(2)現行業務の把握の考え方 ・現行業務の課題を定性的・定量的に可視化し、改善目標の設定につなげるようなものとなっているか。 ・調査の有効性を高めつつ、職員の負担を抑えるような配慮・工夫がなされているか。 ・金額の異なる各プランの実施内容及び違いが明確になっているか。	40	40	32	24	16	8
3		(3)改善策の検討・提案の考え方 ・調査・分析内容から業務改善策をまとめる考え方・方法に説得力があるか。 ・改善策を実施していくイメージがつかめるような具体的な内容となっているか。 ・改善策の視点がデジタルツールやサービスの導入に偏っていないか。 ・適切なKPIの設定など、改善の効果を検証できるシナリオが考慮されているか。	40	40	32	24	16	8
4	スケジュール	・提案内容、スケジュール等から確実な実施が見込まれるか。 ・業務の各フェーズでの成果物のイメージが持てるようになっているか。	20	20	16	12	8	4
5	業務実施体制、提案者の能力等	・実際に市町に伴走して支援を担当する人員が明確になっているか。十分な経験や能力を持つ人員が実働を担う者として配置されているか。 ・各担当者の役割分担が明確になっているか。	25	25	20	15	10	5
6		・本業務を遂行するために必要な経験やノウハウを十分に有しているか。 ・類似業務実績等による市町へのコンサルティング的な専門知識・経験等を活かすことを期待できるか。 ・県及び市町と円滑なコミュニケーションをとるための施策について記載されているか。	25	25	20	15	10	5
7	県内市町への情報共有	・支援対象外の市町も含めた、県全体のBPRIに関する意識の向上や情報交換につながる内容になっているか。	30	30	24	18	12	6
8	業務経費	・20点×(最低提案見積価格/提案価格) ※小数点以下切り捨て	20	—	—	—	—	—
9	その他	・仕様書にない事項であって、本業務にとって有益となる提案が示されているか。	30	30	24	18	12	6
合計			250					

■候補者の選定方法は下記の通り。

- ① 提案者のうち、**最高点と評価した選定委員が最も多い提案者を契約者の候補として選定する。**
- ② ①に該当する提案者が複数あった場合は、**各選定委員の評点合計の平均点が最も高い提案者を候補として選定する。**
- ③ ②に該当する提案者が複数あった場合は、**見積金額が最も安価であった提案者を候補とする。**

■上記に関わらず、次の項目を満たす場合は候補者として選定しない。提案者が1者の場合もこれを適用する。

- ・委員全員の評価合計の平均点が6割未満の場合。